

陸羽西線の運転が再開されました

陸羽西線運転再開記念イベント(令和8年1月18日 新庄市)

令和4年5月から運転を休止していた新庄駅と余目駅・酒田駅を結ぶ陸羽西線が1月16日に運転を再開しました。1月18日には、この運転再開を記念して、新庄駅・最上広域交流センターゆめりあで「陸羽西線運転再開記念イベント」をJR東日本との共催で開催しました。

当日は、新庄吹奏楽団の生演奏による盛大な出発式を行うとともに、足湯や寒鱈解体ショーなど多彩な企画を催し、陸羽西線および沿線地域の魅力をPRしました。



令和8年度当初予算の知事協議

令和8年度当初予算知事協議(令和8年1月26日から 山形市)

1月26日から令和8年度当初予算についての知事協議が行われました。知事協議は、当初予算として要求されている事業のうち、県民の安全・安心に関わる事業など、特に重要な県政課題への対応について、知事の最終判断を仰ぐものです。

協議の結果を踏まえた最終的な予算案については、2月中旬に県議会へ内示しました。この予算案は県議会において審議が行われています。



業者の皆さまはじめ、本県に関わる全ての皆さまのご努力やチャレンジのおかげです。さらに元気な山形を目指してオール山形で挑戦していきましょう!



山形県知事 吉村美栄子

昨年10月、米国の有力メディア「ナショナルジオグラフィック」の「2026年に行くべき世界の旅行先25選」に日本から唯一、山形県が選出されました。画期的であり、快挙?だと思います。また、令和4年度の1人当たり県民所得が東北1位となりました。令和5年の工業の製造品出荷額は、3兆3千5百億円超で過去最高額となり、中でも、半導体を含む電子部品・デバイス・電子回路製造業の出荷額は全国4位で、その付加価値額(売上額から原材料費などを差し引いた額で、企業等の生産活動によって新たに生み出された価値)は全国1位です。令和6年の農業産出額は、30年ぶりに3千億円を超えました。さらに、令和5年調査の居住人口当たりの関係人口数(移住者や観光客を除く地域と多様に関わる人々)は全国1位となっており、本県単独のふるさと納税受入れ額は、現在、4年連続で全国1位です。人口が減少する中でも、山形県の経済は元気なんです。これも、県民の皆さま、事業者の皆さまはじめ、本県に関わる全ての皆さまのご努力やチャレンジのおかげです。さらに元気な山形を目指してオール山形で挑戦していきましょう!

知事コラム

意外とすごい山形県。これからもみんなでチャレンジ!!

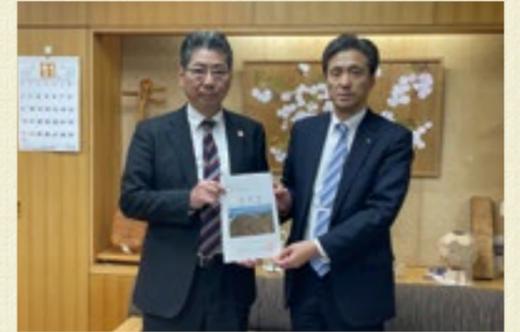
県 Kensei Topics 政トピックス

祝!本県が日本で唯一選出!! 「2026年に行くべき世界の旅行先25選」(米・ナショナル ジオグラフィック誌)

庄内海岸林における松くい虫被害に対する緊急要望を実施

松くい虫被害に対する緊急要望(令和7年11月28日 東京都)

庄内地域の海岸林は、強風や飛砂から生活や農地を守る重要な役割を担っています。しかし近年、松くい虫被害の拡大で防災機能の維持が難しくなっていることから、高橋副知事は林野庁長官に対し、防除や倒木による二次被害防止のための伐採および広葉樹などの植栽に必要な予算の確保を要望しました。また、12月13日には鈴木農林水産大臣が、現地を視察され、関係者と意見を交わしました。今後一層、政府や市町と連携し、対応を進めていきます。



デフリンピックで輝いた県出身選手たち

東京2025デフリンピックで活躍した選手が知事を表敬訪問(令和7年12月26日 山形市)

11月15日から12日間にわたり熱戦が繰り広げられた東京2025デフリンピック。この大会で活躍されたサッカー日本代表の齋藤心温選手、水泳の齋藤京香選手、ハンドボールの大崎英人選手、陸上競技の齋藤丞選手が成績報告のため来庁されました。「緊張よりもワクワク感が大きかった。県民の応援が力になった」と話す齋藤心温選手は銀メダルを獲得。吉村知事は「県民も大きな元気、感動をもらいました。ますますの活躍を期待します」と激励しました。



持続可能で明るい山形県の未来へ

第12回『県民まんなか』みらい共創カフェ(令和8年1月13日 寒河江市)

今回のみらい共創カフェは寒河江市のクライミングジムで開催しました。吉村知事は国内最大級の壁やスタッフの活動を視察したのち、関係者と意見交換を行いました。出席者からは「多様な働き方の導入などにより障がいのある人もない人も活躍できる山形であってほしい」、「誰もが『自分がここにいて良い』と実感でき、幸せを感じられる山形になるよう、さまざまな人が自然に集まる場所をつくってほしい」などの前向きな意見をいただきました。

